

令和6年度前期 学校研究まとめ



「世界を小とせよ」奈良中生 **MAKE THE WORLD SMALLER !**



奈良中学校 R6.10.17



5月 麦秋



8月 ひまわり



11月 コスモス



2月 雪化粧

秋

冬

春

夏

四季折々の姿を見せる奈良中

1 どんな学校ですか？

令和5年(2023)
本校舎改修工事完了



昭和38年
(1963)



昭和52年
(1977)



平成5年
(1993)



平成27年
(2017)

○昭和22年開校 開校78年目を迎えました。

○生徒数143名、教職員19名(県費)、8学級(うち特別支援2)の小規模校です。



おやじの会主催
「アルミ缶回収」



地域の企業も参加
「奉仕作業」



小学校の先生も参加
「資源回収」



生徒は選手兼役員
「地区運動会」



小中合同学校運営協議会



小中合同教職員研修会



幼稚園での
「幼児ふれあい体験」



敬老会での
「箏曲部演奏」

地域とともに子供を育てる奈良中

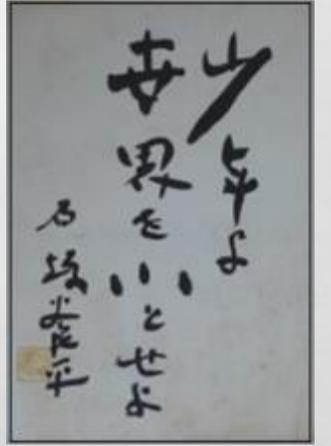
学校教育目標

「世界を小とせよ 奈良中生」

○知性をみがく生徒 (コツコツ)

○愛情深き生徒 (ニコニコ)

○体を鍛える生徒 (ワクワク)



地域の偉人・石坂養平氏（1885-1969）の
言葉及び氏が作詞した校歌の一説より

コツコツ・ニコニコ・ワクワクをキーワードに

2 生徒の様子は・・・



【運動部】 野球、ラグビー、
ソフトテニス、バレー
卓球、剣道（休部中）

【文化部】 箏曲、美術 【臨時】 陸上、駅伝



< R 6 の活躍（新人戦・県大会出場） >

○箏曲部

TBSこども音楽コンクール
川越予選最優秀賞⇒東日本大会へ

○ラグビー部 市予選優勝

○ソフトテニス部

市予選個人3位（寺井・松岡ペア）

○卓球部

市予選ダブル3位（松崎・丸山ペア）

○陸上部

市予選 男子走幅跳 優勝 藤井くん
1年女子100m 優勝 今さん

○美術部

県献血ポスターコンクール
県保健医療部長賞 岩本くん



切磋琢磨する部活動

体育祭



秋桜
コンサート



三年生を
送る会



学校行事に全力投球

1年
神川体験学習



2年
大滝林間学校



3年
修学旅行



リーダーが活躍する宿泊行事

3 どんな研究に取り組んでいますか？

R5・6 熊谷市教育委員会 人権教育学校研究委嘱

<研究主題>

自ら考え、判断し、自他を大切にする生徒の育成

～主体的・対話的で深い学びの視点から

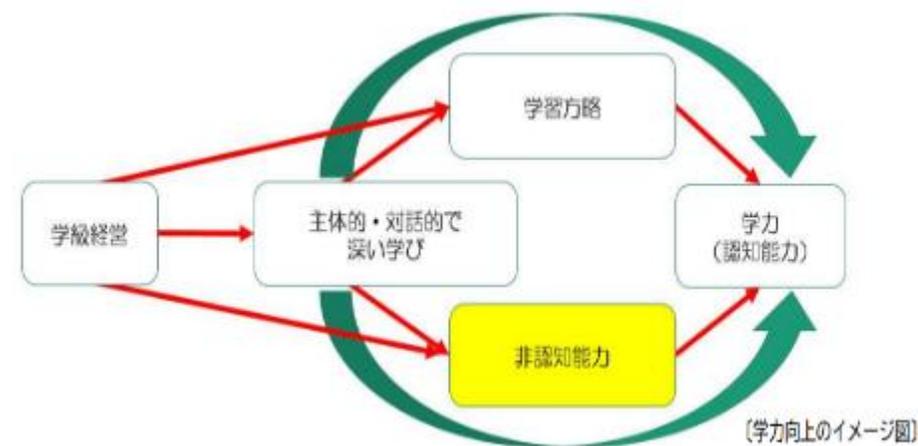
自尊感情を高める教育活動の実践～

「自尊感情」とは・・・
奈良中の研究では、
○自己に対して肯定的な評価を
いただいていること
○非認知能力の一部 と捉える

- 令和5・6年度熊谷市の委嘱を受け人権教育の研究を進めています。
- 知・徳・体のバランスの取れた学力を育成しています。

<埼玉県学力・学習状況調査の分析より>

- ・学級経営がよいほど「主体的・対話的で深い学び」が実現しやすい。
- ・「主体的・対話的で深い学び」は、生徒の「学習方略（学習の仕方）」、「非認知能力（自己効力感、やり抜く力など）」を向上させる。
- ・その結果、学力が向上する。



奈良中学校では、居心地の良い学級を作り、

- ①主体的・対話的で深い学びを充実させ、**わかる授業**を実践します。
- ②自尊感情（≡非認知能力）を育むため、**ほめて伸ばす教育**を実践します。
- ③**SDGs**を推進し、人権に関する知識と人権感覚を育みます。

校長

企画委員会

校内研究推進委員会

コツコツ部

(授業研究部会)

- 主体的・対話的で深い学びを意識したわかる授業の実践
⇒ねらいとまとめの明確化
⇒日常的なICTの活用
⇒個別最適・協働的な学びの実現
- 道徳教育の充実
⇒考え議論する道徳授業の実践
⇒道徳の見える化の推進

ニコニコ部

(人間関係育成部会)

- 学校行事・生徒会活動の充実
⇒スキル教育の活用
- SDGs (人権) の実現
⇒人権教育の充実

ワクワク部

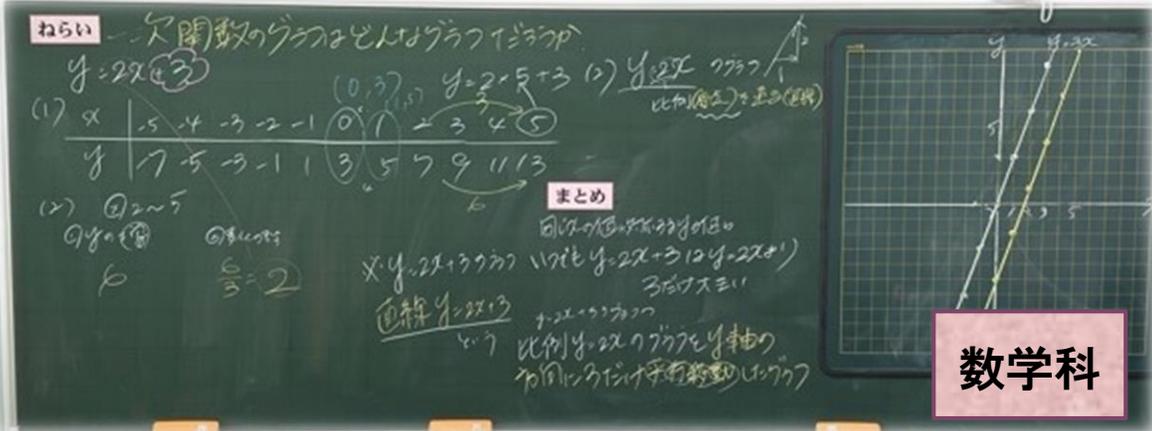
(環境整備・調査部)

- ピグマリオン効果の活用
⇒学年、学級、個人
- 言語環境・掲示物の充実
- 道徳教材・ワークシートの共有
- アンケート調査・分析

組織図

コツコツ部の取組

【取組1】わかる授業の実践1 「ねらいとまとめの明確化」



- すべての授業において、授業冒頭にその時間の**ねらい**を板書します。合わせて授業の終末には、目標に正対した**まとめ**を行います。
- 大型モニタも積極的に活用し、**一時間の流れがわかる板書**で、学習内容の定着を図ります。

コツコツ部の取組

【取組1】わかる授業の実践2 「日常的なICTの活用①」



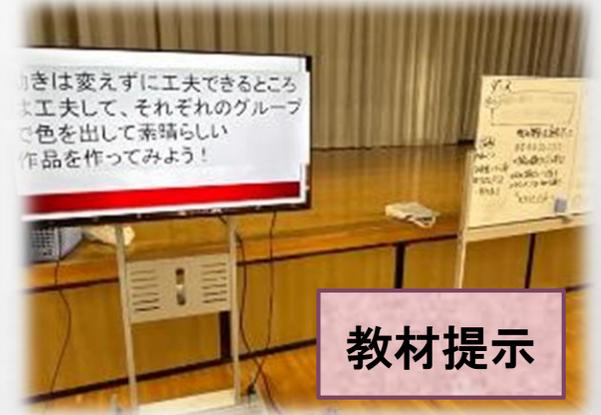
集会での
意見集約



調べ学習



外国の方
との交流



教材提示



学び合い



生徒に
よる説明

- タブレットを**文房具の一つ**と捉え、日常的に活用し、生徒の表現力・思考力を深めます。
- 使うほどに新しいアイデアが浮かび、授業改善が進みます。

コツコツ部の取組

【取組1】わかる授業の実践2 「日常的なICTの活用②」



- どの教科も教師用デジタル教科書を日常的に活用しています。
- また、数学科・英語科では生徒用デジタル教科書を活用しています。
- 学級閉鎖でもオンラインで授業を実施しています。年間50時間以上実施したノウハウを、通常の授業の改善にもつなげます。

コツコツ部の取組

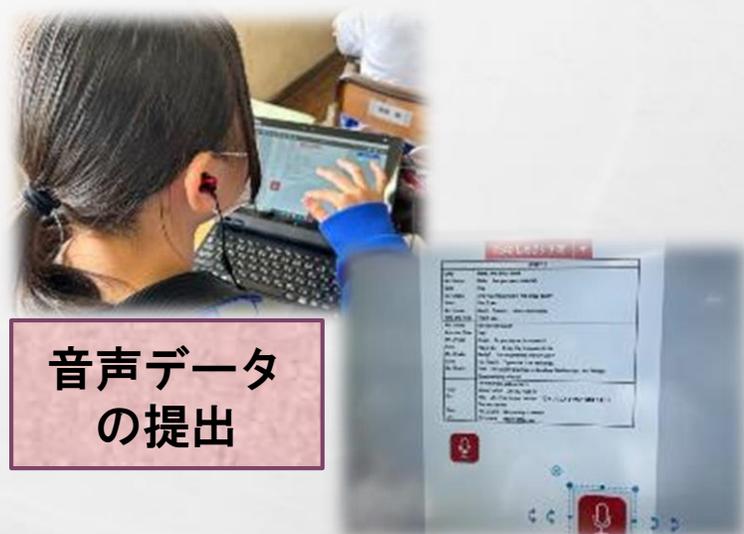
【取組1】わかる授業の実践2 「日常的なICTの活用③」



作品の共有



グループの
意見集約



音声データ
の提出

○さらなるICTの活用<例>

【左】全生徒のレポートを共有します。参考にしたり、説明に使います。

【中】話合いの結果を生徒が入力します。教員が同時に共有、板書します。

【右】英文を吹き込み、その音声データを提出します。

コツコツ部の取組

【取組1】わかる授業の実践3 「個別最適な学び・協働的な学びの実現」



超少人数授業

映像・AIによる
分析・評価



教具の工夫



ドリルアプリの活用

- 指導形態の工夫、ICT・AIの活用により**個別最適な学習**を進めています。
- デジタル・アナログそれぞれの特性を生かした教材・教具を工夫し、**協働的な学び**を進めることにより、一人一人の学力を確実に伸ばします。

コツコツ部の取組

【取組2】 道徳教育の充実① 「考え議論する道徳授業の実践」

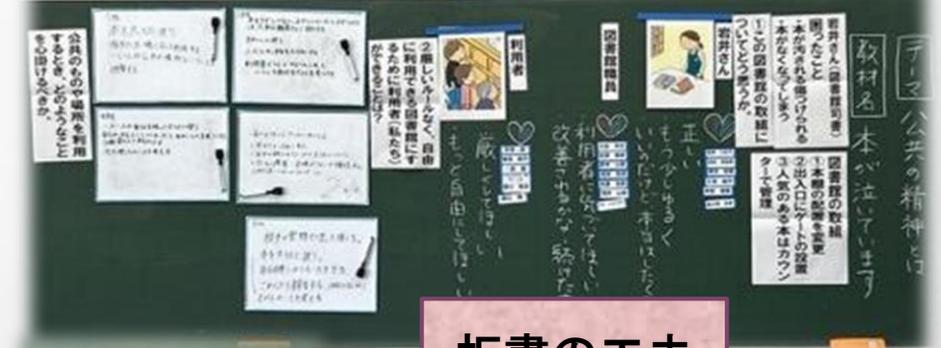


活発な意見発表

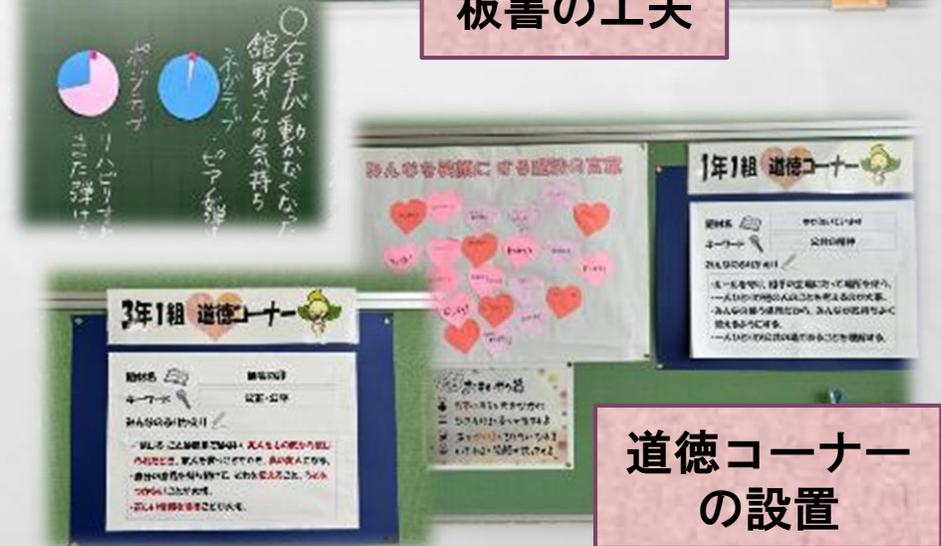


学級・グループ
での討論

- 自分の考えや立場を明確にし、他者と議論する授業により、自己の考えを深めます。
- 各クラスに道徳コーナーを設け、道徳的価値や意見を共有します。



板書の工夫



道徳コーナー
の設置

コツコツ部の取組

【取組 2】 道徳教育の充実② 「道徳の見える化の推進」



無言集合
無言整列

ハンドサイン
による整列



靴・荷物
そろえ



生徒会活動の充実

落ち葉掃き

体育祭での
団編成

- 学んだ道徳的価値を実践できる場を、年間を通して意図的に設定します。
- 活動をほめ、認め、励まします。

台湾地震救援募
読売光と愛の事業団
03-3317-3473(会務課)
▽さいたま市桜区 伊藤祥子
(1万円)▽さいたま市浦和区
清水早平(1万5千円)▽さいた
ま市緑区 匿名(1万円)▽熊谷
市 市立奈良中学校生徒会(2万
1650円)▽川口市 菅原美智
子(1万円)、匿名(5千円)▽浦
和区 匿名(2万円)▽浦和区



ナラッキー募金

コツコツ部の取組

ニコニコ部の取組

【取組3】スキル教育の実施①「グループ・エンカウンター・ソーシャルスキルトレーニング等の実施」

ソーシャルスキルトレーニング（SST）



アサーション



エゴグラム



- スキル教育（SGE・SST）等により人間関係の醸成を図ります。
- エゴグラムによる自己分析で、よりよい自分を目指します。

ニコニコ部の取組

【取組3】スキル教育の実施②「学校行事での一般化」



エンカウンター



神川体験学習



SSTあいさつ



事業所への訪問



SST
電話のかけ方



SST
自己紹介



職場体験

○各行事
スキル教育で学んだ
ことを学校行事で実
践し、一般化を図り
ます。

ニコニコ部の取組

【取組 4】 人権教育の充実「SDGs と関連付けた人権学習」



SDGs（人権）と関連した卒業研究・発表



○総合的な学習の時間：各学年で人権問題の解決に向けた調べ学習を行います。

1年：SDGs調べ、身近な人権問題

2年：国内の人権問題、3年：世界の人権問題



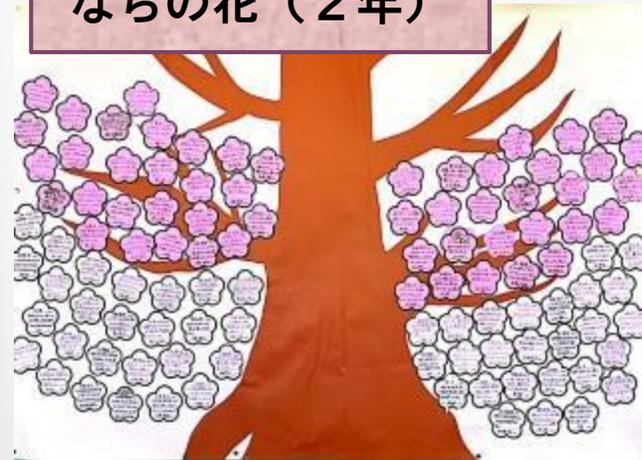
ニコニコ部の取組

【取組5】ピグマリオン取組①「ならの木」

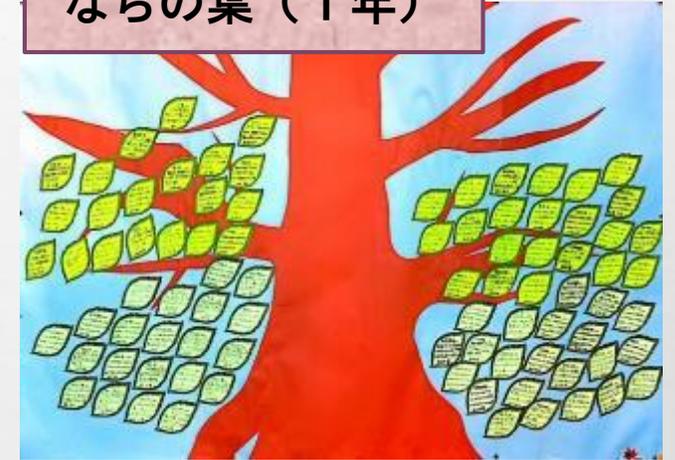
ならの実（3年）



ならの花（2年）



ならの葉（1年）



毎学期：1年生は「ならの葉」、2年生は「ならの花」、3年生は「ならの実」としてクラスメイトの良いところを記述し共有しています。

ニコニコ部の取組

ワクワク部の取組

【取組5】ピグマリオン取組②「季節に合わせたピグマリオン」



12月
クリスマス

季節に合わせた
掲示物

7月
七夕

3月
卒業

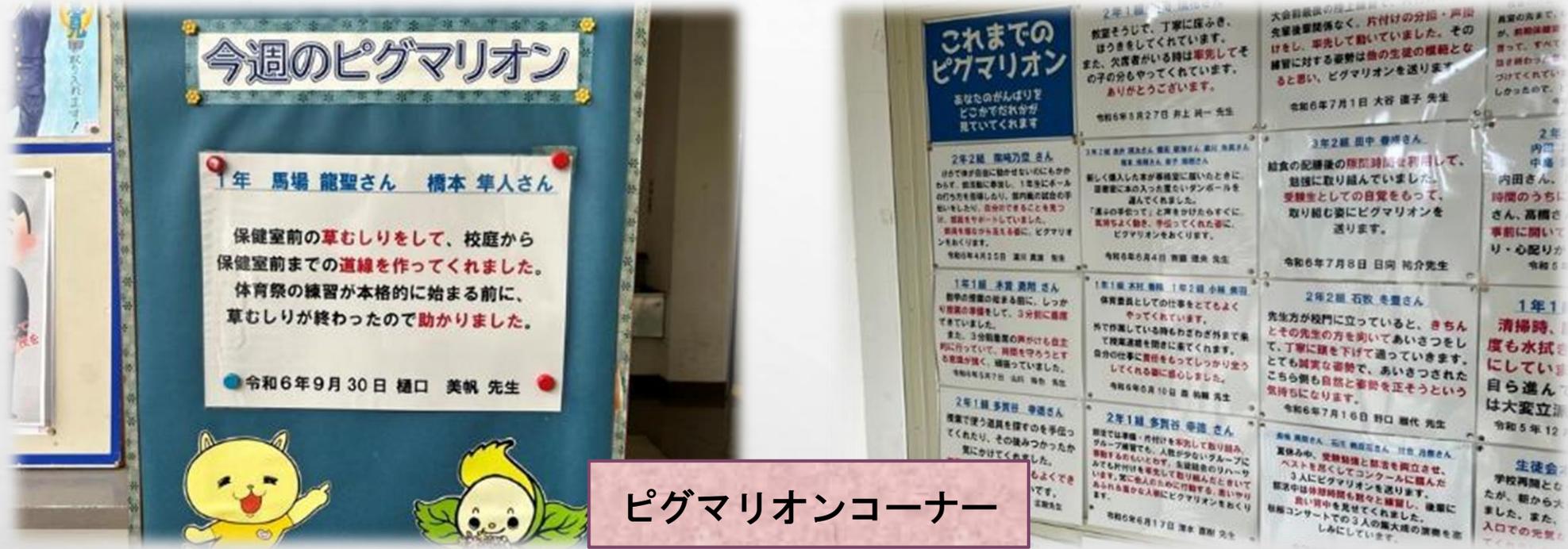


掲示内容の紹介

季節：七夕、クリスマス、節分と季節と関連付けて、学年・学級の良
いところを紹介しています。

ワクワク部の取組

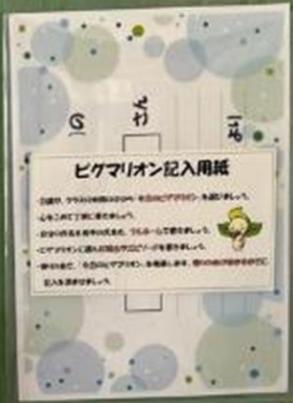
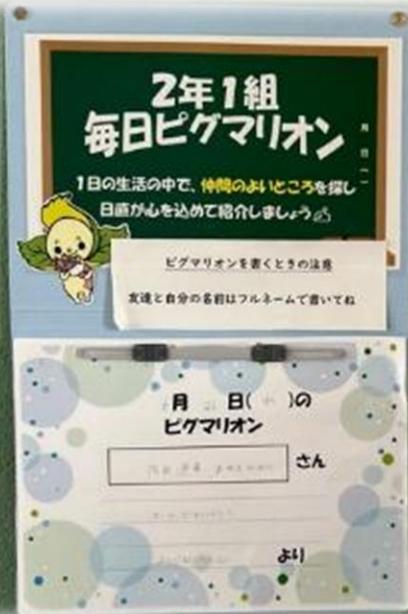
【取組5】ピグマリオン取組③「今週のピグマリオン」



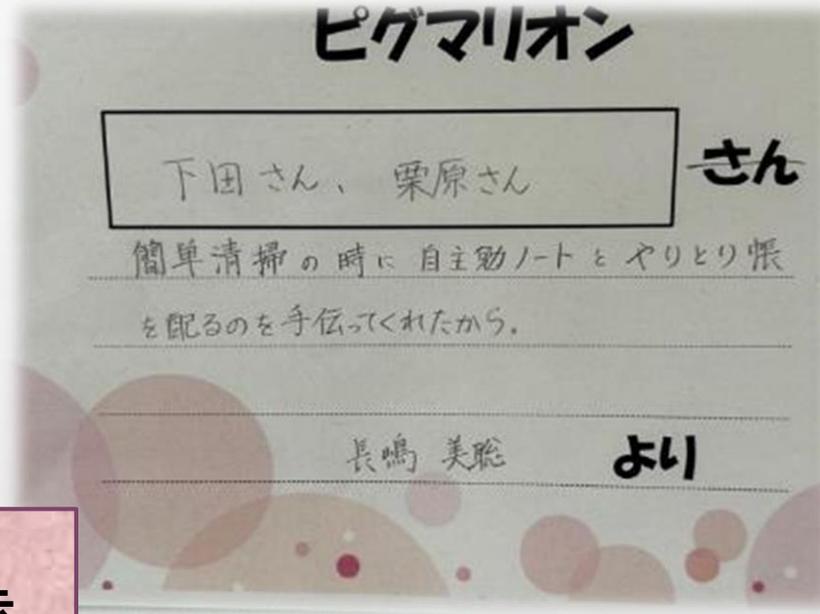
毎週：先生方が気づいた生徒の善行を掲示し、全校で共有しています。
20年以上続く取組として定着しています。

ワクワク部の取組

【取組5】ピグマリオン取組④「毎日ピグマリオン」



日々の
学級掲示



時期に
合わせて

毎日：各学級において、帰りの会等で日直や教員から
その日の生徒の善行を発表する時間を設けています。

ワクワク部の取組

【取組6】学習保障の充実「補充学習・ならナビ」



ならナビ（プリントコーナー）の設置



定期テスト前
教科別補充学習



3年生
寺子屋学習



家庭学習の
すすめ

○家庭学習を支える取組を通して、学習内容の定着を図ります。



ワクワク部の取組

4 他に特徴的な取組はありますか？

①ホームページの充実

- ・ 1日10～20の記事をアップロード
- ・ アクセス数が3倍超に (R4⇒R6)
⇒ R5は230,000アクセス、R6は半年で230,000アクセス



②校長原稿等の事前配布

- ・ 集会等における校長の読み原稿を事前に教員に配布
⇒内容の共有と、共通行動

③学校玄関における学校紹介

- ・ 時期に応じた行事の写真
学校紹介PVの上映



【その他の取組①】 情報発信の強化

情報発信・情報共有のメリット

直接的

- 生徒・教員・保護者・地域が同時に情報共有することができる。
 - ・誰もが、学校の“今”を知ることができる。（情報の新鮮さ）
 - ・保護者・地域が子供の様子を知ることができる。話のタネになる。
 - ・生徒が学校のよいところ、自分たちのがんばりに気づく。
 - ・教員が自分自身の授業や取組の良さに気づくとともに、他の教員を参考に、様々な改善を図ることができる。
- 校長の見方・考え方が伝わる。



間接的

- 生徒も教員も管理職の授業訪問に慣れる。
 - ・生徒と管理職の関わりが生まれる。→生徒指導上の効果
 - ・教員と管理職が授業について気軽に話ができる。→授業改善の効果
- 教育課程（授業進度、内容の把握）、施設・設備（要修理箇所、不足物等）
教員・生徒（困っている先生・生徒への声かけ）の把握がしやすくなる。
- 問い合わせの電話が減る。
- 情報が集まるようになる。

【その他の取組①】 情報発信の強化

①現状把握のために

→得意・苦手、長所・短所を的確に把握する。（生徒・学級・学年・学校・教員）

②授業改善・学力向上のために

→全国：＜生徒＞全国の中での自分自身の学力の位置がわかる。

＜教員＞調査問題から授業改善、解説資料から評価基準の改善を図る。

→県：＜生徒＞過去の自分自身の学力と比較できる。

＜教員＞伸びた生徒・学級を把握することができる。

伸ばした教員の効果のある指導方法を共有する。

【その他の取組②】 学力・学習状況調査の活用

○全国学力・学習状況調査の分析

校内研修資料

R6 全国学力・学習状況調査に見る奈良中の現状と改善

060802 奈良中学校

1 状況及び考察

(1) 国語科

	自校採点 (A)	実際の結果 (B)	差 (B-A)
奈良中	52.0	57	+4.5~+5.4
埼玉県		59	
全国 (公立)		58.1	

【考察】

- 自校採点よりも、実際の結果が高いことから、国が求める採点基準はイメージよりも甘い可能性がある。(昨年度と同様の傾向)
- 県平均と比較して約2点、全国平均と比較して約1点低いことから、本校3年生の国語科の学力は、ほぼ全国平均程度といえる。

【解答の傾向】(全国より5p高い・低い問題)

- 【1四】発言を踏まえ、自分の考えを書く問題 (+8.2p)
- 【2三】文の空欄に入る適切な言葉を選ぶ問題 (+6.1p)
- 【4三】行書の特徴について説明したものを選ぶ問題 (+6.8p)
- △【1一】発言の内容を説明する問題 (-6.3p)
- △【1三】正しい説明を選ぶ問題 (-10.7p)
- △【2二】情報の関係の説明が正しいものを選択する問題 (-8.5p)
- △【3三】漢字を書く「みちたりた」 (-11.9p)

→本校の生徒は、自分の考えを書いたり、選択肢のある問題は得意である。
一方で、書いてある内容を正しく把握することが苦手である。

【授業改善について】

- ・ 状況や場面をしっかりと把握できるようにする。(事実の確認)
- ・ 解答がでないときは、ヒントとして選択肢を提示するとよい。
話し合い活動などが進まないときは、話し合うポイントをしっかりと示すとよい。

<全国学調の結果の捉え方>

○ 全国や県と比較し、本校の3年生の学力がどの程度なのかを測ることができます。

※ 昨年度とは受験者が異なるため、毎年よいか毎年悪いということはありません。

○ 先生方にみとってほしいこと3点

①テスト結果から、現3年生の学力の傾向を知るとともに、得意・不得意な領域・問題を把握し、授業改善に活かす。

②質問紙の結果から、現3年生が学校生活・授業をどのように捉えているか、どのような生活習慣があるかを把握し、指導に活かす。

③担当教科に関係なく、全教員が問題を解き、国が求める学力・授業の方向性を知り、授業改善を図る。

【その他の取組②】 学力・学習状況調査の活用

○埼玉県学力・学習状況調査の分析

校内研修資料

埼玉県学力・学習状況調査における奈良中の状況について

060830 奈良中学校

1 学力の状況及び分析

<学力及び伸びの状況> 上段：学力レベル（36段階）、下段：学力レベルの伸び

青字：県または市より+2以上、赤字：県または市より-2以下

○中1

全体	国語			数学		
	奈良中	熊谷市	埼玉県	奈良中	熊谷市	埼玉県
	22	21	21	19	18	17
上位層	24	23	23	23	21	20
中位層	21	21	20	20	18	17
下位層	20	18	18	16	15	14

<分析>

【国語】どの学力層も学力レベルが高い。特に下位層が高い（下位層が少ない）。

【数学】すべての学力層で学力レベルがとても高い。

○中2

全体	国語			数学		
	奈良中	熊谷市	埼玉県	奈良中	熊谷市	埼玉県
	22	22	22	20	21	21
	(±0)	(-1)	(±0)	(+1)	(-1)	(+2)

<県学調の結果の捉え方>

- 各問題にレベルが設定されており、一人一人の生徒がどの程度の難易度の問題まで解くことができるかがわかります。
- 学力レベルを比較をすることで、前年度からの学力の伸びがわかります。
- 先生方にみとってほしいこと3点
 - ①学力が伸びた生徒や学級について分析し、どのような指導方法が効果的なのかを明らかにしてください。
 - ②また、その情報を、学校全体や学年で共有して指導に活かしてください。
 - ③質問紙の結果から、生徒が学校生活・授業をどのように捉えているか、どのような生活習慣があるかを把握し、指導に活かす。

【その他の取組②】 学力・学習状況調査の活用

5 研究の成果と課題は何ですか？

生徒評価（肯定的評価の割合）

朝食を毎日食べる	95%
あいさつを進んで行う	92%
元気よく返事をする	92%
ありがとう等が言える	98%

保護者評価（肯定的評価の割合）

お子さんは朝ごはんを食べている	85%
お子さんは登下校の時刻などを守る	92%
生徒は頭髪・服装等適切である	95%

【成果1】熊谷市・4つの実践は、生徒・保護者ともできていると考えている。

授業に意欲的に取り組む	91%
部活動に積極的に取り組む	95%
学校行事に積極的に取り組む	92%
朝読書に意欲的に取り組む	92%
清掃に意欲的に取り組む	92%

お子さんは授業に意欲的に取り組む	80%
お子さんは部活動に熱心に取り組む	92%
学校行事は効果を上げている	92%

【成果2】生徒も保護者も学校生活に前向きに取り組んでいると考えている。

成果①（R6前期学校評価より）

生徒評価（肯定的評価の割合）

<生徒が選ぶ学校のよいところベスト3>

1位 あいさつがよくできる

2位 **ピグマリオン**

（よいところを認め合う、相手を大切にする等）

3位 仲が良い（学年を越えて、男女問わず）

保護者評価（肯定的評価の割合）

生徒はマナーやルールを身につけている 95%

生徒は生命や人権の大切さ等が身につけている 97%

学校は情報提供をよくしている 100%

【成果3】

<生徒> ピグマリオンの取組への意識を持っており、その成果を感じている。
学年、性別を越えて、互いに尊重し合う気持ちが身についている。

<保護者> 生徒に人権意識が芽生えていると感じている。
生徒がルールやマナーがよいと感じている。

成果②（R6前期学校評価より）

生徒評価（肯定的評価の割合）

【学校生活に関する質問】

○先生は、あなたのよいところを認めてくれている	⇒	「あてはまる」と回答した生徒	(全国+14.3p)
○先生は、間違えたところ等をわかるまで教えてくれる	⇒	//	(全国+24.9p)
○学校に行くのは楽しい	⇒	//	(全国+ 9.3p)
○学級では互いの意見の良さを生かして解決している	⇒	//	(全国+13.6p)

【人権に関する質問】

○将来の夢や目標を持っている	⇒	//	(全国+13.0p)
○いじめは、どんな理由があってもいけないことだ	⇒	//	(全国+ 7.8p)
○自分と違う意見について考えるのは楽しい	⇒	//	(全国+ 7.4p)

【成果4】

<生徒> 学校や先生に安心感や信頼感を持っている生徒が多い。
自他を認め、人権意識や人権感覚が高い生徒が多い。

成果③(R6全国、県学力・学習状況調査より)

生徒評価（肯定的評価の割合）

学校に行くのは楽しい 90%
自分にはよいところがある 81%
失敗を恐れず挑戦している 79%

スマホ等の時間を減らしている 55%
スマホ利用の約束を守っている 66%

保護者評価（肯定的評価の割合）

お子さんは喜んで登校している 86%

【課題1】 学校が楽しいと考えている生徒・保護者が多いが、一部に楽しく通えていない生徒がいる。

【課題2】 スマホについて保護者との約束を守れず、使用時間を減らせない生徒が多い。

【課題3】 自分に自信がない生徒、挑戦できていないと考えている生徒が一定数いる。

<対策1> 学力向上
⇒わかる授業の推進
補充学習の充実

<対策2> 自尊感情を高めるための
さらなる環境づくり
⇒ピグマリオン、スキル教育の充実

<対策3> 問題行動への適切な対応
⇒道徳教育（人権含む）の推進、問題行動
の早期発見・対応・専門機関との連携

課題と対策

<令和6年度 教職員>

松永 哲	関谷 淳	諸 幸代	野口 雅代	浅香 好	宇佐美将熙
山川 裕也	濱川 真波	清澤 広毅	樋口 佳代	井上 純一	齐藤 理央
森 祐輔	清水 直樹	長峰 由樹	大谷 直子	日向 祐介	樋口 美帆
新井 俊介	馬場 勝巳	中澤 信宏			

<令和5年度 教職員>

小林 礼二	谷鹿 光	津久井美喜	山崎 千晴	小池 美花	田中嶋玲子
-------	------	-------	-------	-------	-------

<Special Thanks>

文京学院大学 伊藤 幸男 特任教授
熊谷市教育委員会学校教育課の先生方



研究に携わった先生方